

あなたは、どれがインプラントか分かりますか？



当医院ではインプラント治療を行っています。
自分はインプラントが出来るのか、
インプラントとはどんな治療なのか、
気になることがあれば何でも構いません。
お気軽にご相談ください。

歯科情報

歯周病（歯槽膿漏）を予防するには？

- 歯磨きをすると歯茎から血が出る
- 歯茎が赤く腫れている
- 口臭が気になる

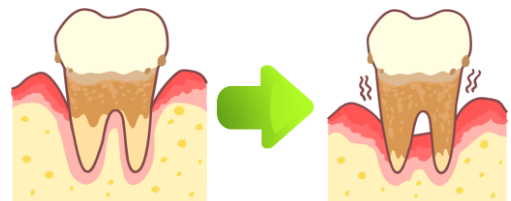
もし思い当たるようなら、歯茎の病気にかかっているかもしれません！

歯周病は歯肉炎から始まり、それが歯肉の中の歯槽骨（歯を支える骨）に広がっていきます。歯周病の恐ろしさは、むし歯のように痛むことがあまりなく、キレイな歯が抜けてしまってから気づくことにあります。歯周病は自然に治ることはありません。

歯肉炎の段階であれば、歯科医院で歯石を取って毎日規則正しい歯磨きをすればよくなります。

また、歯石は歯周病の原因となる細菌の住み家になりやすく、ブラッシングでは取れません。歯石が付きやすい人は定期的に歯科医院に行き歯石取りをすることが必要ですね。

定期的な歯科検診はもちろん、もし歯茎に異常を感じたら早めの治療をおすすめします！



デンタルアシスタント 稲井梨穂

JUN 歯科クリニック JUN インプラントセンター
TEL・FAX 087-813-2123 TEL 087-813-2331
〒760-0054
高松市常磐町 2 丁目 8-10 Macrophage Bldg

サンポート歯科
TEL・FAX 087-851-5545
〒760-0011
高松市浜ノ町 63-2 Blue Box



日本では、5月の第2日曜日は「母の日」として広く一般的に知られています。

そもそも、どうして5月の第2日曜日？贈るお花はカーネーション？調べてみると、それぞれ意味や由来があるようです。

諸説ありますが、ここではアメリカ発祥説をご紹介します。

アメリカに「アン・ジャービス」という女性活動家があり、彼女は地域医療・衛生環境の改善を目的としたボランティア団体を組織し、活動していました。そして、彼女がアメリカに広く知れ渡ることになるきっかけが南北戦争（アメリカ合衆国とアメリカ連合国の争い 1861年～1865年）です。南北戦争の最中、当時彼女が住んでいたウエストヴァージニア州は「北軍」と「南軍」の両軍が駐屯する場所で、両軍の兵士の間で「チフス」や「はしか」などの病気が流行していました。その時、彼女たちは敵・味方関係なく、病気や負傷した兵士の救護にあたりました。

南北戦争後も、彼女は平和活動や子どもたちへの教育支援など、活動の場を広げていきますが、1905年5月9日に亡くなります。

そんな彼女の活動を間近で見て尊敬していた娘のアンナさんは、この母親を敬う気持ちを世の中に残しておくため、「母親のための祝日を設ける運動」を始めます。やがてアンナさんによる運動は賛同者も増え、アメリカ全土に拡大していきます。そして1914年、アメリカ連邦議会は5月の第2日曜日を「母の日」とする法律を可決、翌1915年に施行、世界で初めて「母親のための記念日」が誕生することとなりました。

日本でも1915年直後にはキリスト教の教会などでは既にお祝いが始まっていたと言われています。全国的に広がったのは、1937年に森永製菓が「母の日」を全国的に告知したことでした。そして戦後の1947年に5月の第2日曜日が「母の日」として制定されました。

母の死から2年後、アンナさんは母が生前、日曜学校の教師をしていた教会での記念式典の際、母が好きだった白いカーネーションを祭壇に飾ったと言われています。亡き母に、母が好きだった白いカーネーションを贈ったアンナさん。これを受け、「母が他界している場合は白いカーネーション」、「母が健在であれば赤いカーネーション」を胸に飾るようになり、それがやがて母の日にはカーネーションを贈るという習慣へ変化していったと言われています。

カーネーションは由来にまつわる贈り物でしたが、現在ではたくさんの情報が溢れ、贈り物にもたくさんの選択肢があり迷ってしまいますね。ですが、相手を想って選ぶ・喜ぶ母の顔を思い浮かべながら選ぶその時間は、全ての子どもに共通するものであるようにも思います。

今年の母の日は5月13日です。あなたなら何を贈りますか？



サンポート歯科 コンシェルジュ 堀かずは

お花見に行って来ました！ in 栗林公園



桜はほとんど散っていましたが、代わりに春の草木が花を付けていました！
さすが四季を感じられる栗林公園、いつ訪れても感動します！

皆と食べるお弁当は格別！
差し入れて頂いた甘味も美味しくいただきました♪